

団体名	風布川・日本水保存会（寄居町）	
DATE	代表者	会長 坂本廣久（さかもと ひろひさ）
	事務局及び情報誌等送付先	事務局長 坂本賢藏（さかもと けんそう）
		〒 369-1235 埼玉県大里郡寄居町大字風布215-1
	メールアドレス	事務局長 green-gables.999@soleil.ocn.jp
	電話番号	会長 048-581-4927 事務局長 048-581-5803
	ホームページ	無し
	構成員	役員22人（22世帯）
	活動日	4月～12月まで毎月一回及び、必要な時は随時。
	活動場所	大字風布及び大字金尾地域（以下、「当地域」という。）のうち、源泉の日本水（やまとみず）付近から荒川の支流である風布川（ふうぶがわ）下流までの約7kmの川、その沿道・遊歩道及び周辺。
	情報誌	発行していない
設立のきっかけ	古くから雨乞いや安産などの霊水として広く知られていた日本水及び清澄な風布川が、昭和60（1985）年3月、環境庁から埼玉県内で唯一「全国名水百選」に選定されたことを契機として、それまで保全活動の主体だった寄居町観光協会風布支部及び同会金尾支部から名水保全を目的とする「風布川・日本水保存会」（以下、「保存会」という。）を独立させて立ち上げた。	
設立の目的	地域住民に親しまれ良好に保全されていること（親水性）を理由に名水百選に選定されたことから、源泉の日本水、風布川流域及び「金尾五井戸」（かなおごいど）の周辺を含めた環境保全を保存会の基本的な役割と捉え、当地域の全世帯から選出される役員全員で水質及び環境の保全に取り組むことを目的に設立した。	
活動の内容	名水百選に選定された以降、日本水への水汲みや風布川での川遊びの人が大幅に増加する中で、川の倒木整理、沿道の草刈やゴミ拾い、町と協力しての不法投棄対策を行ってきた。 また、源泉近くの沢の最上流から約700m導水して水汲みに提供している町道脇の「日本水水汲み場」の管理者（所有者）に対して、取水場所周辺の清掃などを側面から支援している。 さらに、当地域住民に対して「守るべき地元の誇り」としての名水の価値や、自然環境を守ることの重要性を啓発している。	
表彰実績	平成元（1989）年、寄居保健所地区衛生会長表彰状（地区衛生組織活動に努めた） 平成7（1995）年、埼玉県知事感謝状（河川的环境整備に努めた） 平成27（2015）年、寄居町表彰（自然環境保全功労表彰）	
エピソード	名水選定以来、春から秋まで、風布川での川遊びが家族連れで大賑わいしている。水が清澄で水深が浅く幼児でも安全に遊べるのが人気で、町内外の保育園や幼稚園がバスで園児を連れてきている。また、夏休みは休日・平日を問わず多くの人が訪れて水に親しんでいる。孫を連れて夏休みの期間中毎日のように朝から晩まで来ているおじいさんおばあさんも居た。 源泉付近は現在、立ち入り禁止になっている。それは、平成13（2001）年に隣町の国指定史跡「長瀬岩畳」で岩盤が崩れ高校生が足を挟まれて足を切断せざるを得なかった事故が発生し、源泉が百畳敷岩と呼ばれる大きな岩盤から湧き出ていることから、崩落による事故を危惧して、保存会、寄居町及び地主の三者で協議してやむなく禁止したものである。 源泉へ立ち入れないこともあって、「日本水 水汲み場」は大賑わいで、県内外から多くの人が訪れて行列が絶えず、年間では1万人を超えらると思われる人気である。 なお、風布川の源流である日本水の森は平成7（1995）年に林野庁から「水源の森百選」に選定された。また平成8（1996）年には、荒川上流の「自然と産業が調和する創造のまち」として寄居町全域が国土庁から「水の郷百選」に認定された。名水百選と合わせて「水の三冠王」と呼ばれている。	
今後の計画目標	水源を守ることは自然環境の保全無しにはあり得ず、環境保全こそが下流の都市住民の生活用水の確保と水質保全につながるものと捉え、今後も町からの補助金及び「日本水 水汲み場」管理者（所有者）からの支援金を財源として、「守るべき地元の誇り」を、弛まず、焦らず、背伸びせず、地道な活動を継続して次の世代へつなげていきたい。	

地域づくりネットワーク埼玉県協議会会員情報

年間行事	4月から12月まで毎月一回、風布川沿いの車道・遊歩道及び風布川の巡視とゴミ清掃、倒木整理を行っている。また、春秋の二回、車道と川の草刈りを行うなど、交通の安全と景観維持により、川に親しんでもらえる環境づくりに努めている。
これまでの歴史	昭和60（1985）年3月、名水百選に選定されたことから、名水保存会を立ち上げた。同時に5月5日を「名水の日」と定め、10年ほど前まで「名水祭り」を実施してきた。 平成3（1991）年9月、全国水環境保全全国協議会総会及び研修会が寄居町を会場に開催され、保存会は側面から運営に協力した。その後は全国各地で開催される同総会及び研修会へ10年ほど前まで参加してきた。 平成13（2001）年～平成22（2010）年、公益財団法人サイサン環境保全基金（さいたま市大宮区）から約2,200万円の助成金を受け、大字風布地内の森林整備を実施した。 平成28（2016）年4月、77歳定年を導入し、役員の若返りを図った。
代表者から一言	地域住民に大切に親しまれてきた風布川・日本水が全国名水百選に選定されてから40年余り経ちましたが、今後も水辺の環境を守りながら保存会の役員を中心に保全活動を行ってまいります。
団体PR	「出会い、ふれあい、交流を目指します」 保全活動に参加することで、従事する役員や当地域住民が使命感や喜び、誇りを抱いています。当地域に住んで共に暮らし、訪れる人々と出会い、ふれあい、交流しながら、地域づくりに取り組む団体として今後も頑張りますので、応援をお願いします。 令和8年7月